

県立高校の旬な情報を毎月お届けします。マナーアップ通信、部活動やボランティア活動などの各学校の特色ある取組、学校紹介、コラム、お知らせなど各高校の魅力的な取組の情報が満載です。中学生の皆さんの進路選択にぜひ御活用ください。

11月号の目次

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1 マナーアップ通信 | (4) 仙台二華高校 | 3 学校紹介 |
| (1) 蔵王高校 | (5) 宮城第一高校 | (1) 柴田高校 |
| (2) 角田高校 | (6) 泉高校 | (2) 黒川高校 |
| (3) 名取北高校 | (7) 加美農業高校 | (3) 古川高校 |
| | (8) 古川工業高校 | (4) 岩ヶ崎高校 |
| 2 特色ある取組 | (9) 登米高校 | |
| (1) 白石高校七ヶ宿校 | (10) 迫桜高校 | 4 お知らせ |
| (2) 伊具高校 | (11) 水産高校 | (1) 宮城野高校 |
| (3) 名取高校 | (12) 気仙沼高校 | (2) 第二工業高校 |
| | | (3) 美田園高校 |

1 マナーアップ通信

(1) 蔵王高校 <ゴミ拾いと朝の挨拶運動>

本校では、部活動が中心となって、地域の老人ホームや福祉施設、あるいは蔵王町の行事等にボランティアとして参加しています。外部の方々と活動する際には、高校生としてのあるべき姿が問われることになり、生徒一人一人の日々の取組が映し出されます。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、例年と同じようなマナーアップの取組を行うことはできませんが、それでも各学年によるゴミ拾い活動と、朝の挨拶運動を行い、意識を高めようと努力しています。文化祭の日にはPTA合同の朝の挨拶運動も行いました。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://zao-h.myswan.ed.jp/>

(2) 角田高校

<角田小学校・角田中学校・角田高校合同の朝の挨拶運動>

角田市内の学校では積極的に朝の挨拶運動を行っています。角田小学校・角田中学校・角田高校の3校は、道路を挟んで隣接しているという立地条件を生かして、平成23年度より各校の児童会・生徒会役員が合同で朝の挨拶運動を行っています。毎月1日と15日に朝の7時45分から8時まで小中高校生が角田小・中学校前の十字路の3カ所に立って、登校する児童・生徒への挨拶運動をします。

今年度は昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で角田小学校児童会は参加していませんが、角田中学校と角田高校は例年どおり実施しています。

9月1日は緊急事態宣言のため中止しましたが、それ以外は毎月2回定期的に行っています。10月からは角田高校の生徒会も新体制が発足し、生徒会に新たに入った1年生も参加するようになりました。

これから寒くなってきますが、大雨や大雪が降らない限りは元気に町の人たちに挨拶を続けていきたいと思っています。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://kakuko.myswan.ed.jp/>

(3) 名取北高校 <地域に愛され 地域に育てられる名取北高校>

名取北高校のマナーアップ運動には、毎月各クラス生徒が協力して行う交通安全運動があり、登校時間に本校の生徒を始め通行する人全員に交通安全を呼び掛けています。PTA役員の方と合同で行ったり、警察に御協力をいただいたりしながら、地域のためにマナーアップに努めています。

また、ホームルームごとに行っている地域清掃をはじめ、生徒が主体となった活動にも力を入れています。本校は「地域に愛され 地域に育てられる」ことを励みに頑張っています。今後もマナーアップに全力で取り組んでいきます。



マナーアップ運動



地域清掃

< 学校のホームページはこちらです >

<https://natorikita.myswan.ed.jp/>

2 特色ある取組

(1) 白石高校七ヶ宿校 <七ヶ宿ダム湖強歩大会を開催しました>

本校では、10月29日（金）に、第28回七ヶ宿ダム湖強歩大会を開催しました。秋の七校の恒例行事として、全長約6kmの湖畔（国道113号線から見渡せる、ダムの対岸道路）を参加者全員が完歩しました。

秋風と、清々しい天候の中を全力で駆けぬけたり、楽しくウォーキングしながら自然を満喫したりするなど、一人一人が楽しく参加でき、思い出に残る行事となりました。全員がゴールに到着し、心地よい日射しと、360度の自然をいっぱい味わえたことが、何よりも嬉しく素晴らしい時間になりました。

男子は佐竹礼音さん（3年）、女子は大野友里亜さん（3年）が優勝しました。両名とも、2年連続の優勝を飾り、七校の歴史に新たな1ページを刻みました。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://sitika.myswan.ed.jp/>

(2) 伊具高校 <特色ある取組紹介>

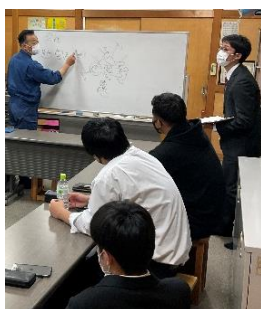
本校は、農学（農業科）、機械（工業科）、情報（商業科）、福祉（福祉・家庭科）の4系列からなる総合学科です。今回は、情報系列と機械系列の取組を紹介します。

I 情報系列【丸森町地産地消お弁当プロジェクト】

情報系列3年次では、総合的な探究の時間で丸森町地産地消お弁当プロジェクトと題して、お弁当の商品開発を行いました。Cawa Caffeの星野様はじめ、地域企業のみなさまの御協力のもと、10月2日（土）にはフレスコキクチ丸森店にてお弁当の販売会を実施しました。



II 機械系列【地域支援プロジェクト】



機械系列3年次生の総合的な探究の時間では、子供向けのフットペダル式消毒ボトルスタンドを仙南地区のものづくり企業とともに製作しました。スーパーで小さな子どもの顔に消毒液が掛かる姿を見て、子ども達でも安全に消毒できるものを作りたいと生徒たちが考え製作しました。今後、地域の方に贈呈する予定です。

伊具高校での学びが、地域の皆さんと共に地域に還元されています。皆さんも伊具高校に入学して地域社会を盛り上げてみませんか。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://igu.myswan.ed.jp/>

(3) 名取高校 <郷土料理講習会～はらこ飯～>

10月13日（水）に家政科3年食物系列生徒15名を対象として、郷土料理講習会（はらこ飯調理実習）が行われました。栄養士の三品美智子先生を外部講師としてお招きし、森景商店店主による鮭の解体実演、はらこ飯の調理実習を行いました。

鮭の解体実演では、店主の包丁さばきに時折生徒達から歓声が上がりました。その後、はらこ飯の由来、いくらの扱い方や氷頭などについて学びました。特に、「氷頭なます」の調理では初めて食べる生徒も多く、その調理法や食感に感動していました。今回、「はらこ飯・鮭のあら汁・氷頭なます」の調理実習を通して、鮭という食材を余すところなく調理し、改めて、命をいただくこと、食材を大事にいただくことの大切さを再確認できました。

この経験を生かし、みやぎの郷土料理や地元の食文化の伝承に役立てて欲しいと思います。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://natori-h.myswan.ed.jp/>

（４）仙台二華高校 < “世界の水問題の解決” に挑む >

仙台二華高校には特色ある取組がたくさんありますが、その取組の1つが「グローバルスタディ課題研究」（学校設定教科）です。『世界の水問題の解決への取組』をテーマに生徒が自ら課題を見つけ、2年間（科目の選択によっては3年間）にわたり探究活動を行います。この活動の一環として高校1年次生対象の北上川フィールドワーク（以下「北上川FW」）を10月1日（金）に実施しました。今年度は、コロナ禍のため本校の行事等のほとんどを縮小して実施してきており、この北上川FWも2日間の予定を日帰りに縮小しての実施になりました。岩手県と宮城県にまたがる北上川に関して、その歴史や周辺の地形、自然環境、近隣の自治体が抱える様々な課題などについて、実際に現地へ赴いて学びます。生憎の天候の中、7つのHR（ホームルーム）が3つに分かれ、（1）伊豆沼サンクチュアリセンター、（2）一関の北上川学習交流館あいぼーと、（3）東松島市の野蒜海岸、洲崎湿地をそれぞれ訪れ、研修を行いました。以下は参加したそれぞれのコースの生徒代表の感想です。



- （１）伊豆沼では実際に沼の生物を採集し、生き物の種類や様子を実感できました。また、資料館学習では外来魚のように少ないほど望ましいものもあれば、観光資源として有用でも環境に悪影響を与えるものもあり、生物保護の難しさを感じることができました。
- （２）私たちは、洪水時に溢れた水をためる一関遊水地と遊水地を管理する施設であるあいぼーとに行ってきました。北上川FWを通して、治水計画を立てるには地形や費用、地域への影響など様々な問題を考える必要があると感じました。
- （３）洲崎湿地では震災後の治水や水質、生態系について学び、洪水を防ぐだけでなく水環境の維持も重要だと気づくことができました。また、様々な専門分野の先生方に多くのお話や御講義をいただけたので、終始楽しい北上川FWになりました。

本来であれば2日目に予定されていたもう一つの活動、八幡平中腹にある旧松尾鉱山跡地での育樹活動も大切にしています。環境保全の規模としたら小さいかもしれませんが、継続していくことでいつか環境が蘇ることを期待し、これからもこの活動を続けていきたいと思っています。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://nika.myswan.ed.jp/>

（５）宮城第一高校 <春季は陸上，秋季は球技の体育大会>

“自主自律”の校風のもと、生徒一人ひとりが輝く学校を目指す、宮城第一高校の名物行事「体育大会」。

5月、宮城野原運動公園を会場に、コロナ対策を徹底し、2年ぶりの春季体育大会が開催されました。1，2年生にとっては初めての大会となり、全校生徒がグラウンドで整列することも1年ぶりのことでした。例年行われている仮装行進は残念ながらできませんでしたが、クラスで揃えたTシャツを着て応援し、学校行事ができる喜びを感じていたようです。

10月、秋季体育大会は球技の種目となります。実行委員や体育の先生方を中心に準備が進められ、今年度は接触が大きいバスケットボールやサッカーは中止、バレーボール、卓球、バドミントン、キックベースの4種目で行われました。春秋とも晴天に恵まれるなか、大いに盛り上がった大会となりました。なお、優勝～三位は高級アイスクリームが、四～五位はお菓子詰め合わせが賞品だったようです。

宮城第一高校に入学を希望される中学生の皆さんも、クラスが優勝（高級アイス?）目指して競う、気持ちよい汗を流してみませんか？



上位入賞品は高級アイス？



人工芝のグラウンドでキックベース

< 学校のホームページはこちらです >

<https://miyaichi.myswan.ed.jp/>

（６）泉高校 <2021年度 英語科発表会>

10月15日（金）、仙台市泉区にある仙台銀行ホールイズミティ21において、英語科発表会が開催されました。

この発表会では、英語科に在籍する全学年の生徒が、当日の運営から発表までの一切を行いました。

発表会では、スピーチ（弁論）、レシテーション（物語の暗唱やオリジナルスキット）、ショーアンドテル（好きな物の写真を見せての発表）、プレゼンテーション（興味を持った課題について発表）、スケッチ（劇）、ディベート（あるテーマに関して賛成派、反対派に分かれて討論）が披露されました。

昨年度は新型コロナウイルス感染症のために中止となり、今年度は緊急事態宣言のために一度延期されました。

当日は無観客での実施となりましたが、生徒たちは実施できたことに感謝し、少し緊張した様子でしたが、それぞれ堂々と英語によるパフォーマンスを行っていました。生徒たちは終了後、「やりきった！」と満足した様子でした。

これから1・2年生にはイングリッシュキャンプなどの行事が待っています。それに向けてさらに英語力や表現力を磨いていきます。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://izumihigh.myswan.ed.jp/>

(7) 加美農業高校 <加美農祭とは?>

本校では毎年10月下旬、日頃の学習活動や文化活動の発表を行う加美農祭を行っています。各学科・各専攻や文化部などが日頃の学習の成果を展示発表したり、吹奏楽部が演奏したりしています。また、各クラスによるステージパフォーマンスも行われますが、これは特に盛り上がります。各クラスの発表は様々な工夫を凝らしています。



本校には農業学習以外にも加美農ならではの行事がたくさんあります。みなさんも一緒に加美農ライフを楽しんでみませんか。

学校のウェブサイトでは学校行事や学習の様子を公開しています。是非御覧下さい。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://kamino-h.myswan.ed.jp/>

(8) 古川工業高校 <建設現場における現場実習>

土木情報科2年生では、毎年3日間にわたって建設現場等で現場実習を行っています。実際の建設現場や官公庁における職業体験学習を通して、勤労の尊さや厳しさを実感させ、土木技術者としての心構えを育成することを目的としており、職業観や職業意識の向上に役立っております。

今年も宮城県建設業協会大崎支部をはじめ、国土交通省東北地方整備局、大崎市役所などの協力を得て各事業所4名で実習を行いました。現場での実習では、測量器械を使って角度や距離、高さを実測したり、法丁張の設置、建設車両の試乗運転、ドローンの操縦など様々な体験をし、また実際工事が行われている建設現場や鳴子ダムの見学などもあり、生徒たちはこの現場実習を通して数多くの土木技術を学べる機会となっています。

この経験から、将来の土木技術者としての意識を強く持ち、卒業後の進路につなげています。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://furukk-h.myswan.ed.jp/>

(9) 登米高校 <登米小学校での読み聞かせ活動>

今年度も10月から、お隣の登米市立登米小学校にお邪魔しての、絵本や紙芝居の読み聞かせ活動が始まりました。家庭科「子どもの発達と保育」受講者や情報文化部でボランティアに興味のある生徒、図書委員などが参加します。月1回月曜の8時15分から実施して、授業が始まるまでには学校に戻ります。朝早くの集合で大変な面もあると思うのですが、かわいい小学生との交流が魅力で、続けて参加を希望する生徒が多くいます。

第1回目は2年1組の教室へ、3名が紙芝居『三枚のおふだ』を持って読み聞かせを行ってきました。昨年度、希望しながらも感染症予防のために中止になったグループなので、待ちに待った活動です。読み聞かせとクイズで楽しい朝のひとときを過ごしました。小学生からの評判も良く、1月まで合計4回の訪問を予定しています。去年までは低学年だけでしたが、今年は3年生の教室にも行けることになったので、登米市立登米図書館から選書の御指導もいただきながら、準備を進めています。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://tome-h.myswan.ed.jp/>

(10) 迫桜高校 <迫桜祭>

迫桜祭が10月21日(木)と22日(金)に行われました。

今年度も昨年度同様、コロナ禍での開催となり、一般公開は行わない形での実施となりました。1日目は有志団体による発表と、クラス対抗のパフォーマンスが披露されました。2日目は文化部のステージ発表と活動展示に加え、各系列や委員会の展示や体験も行われました。生徒はスタンプラリー形式で会場を巡り、文化祭を大いに楽しみました。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://hakuou.myswan.ed.jp/>

(11) 水産高校 <課題研究発表会>

突然ですが、皆さん。最近、何か困ったことはありませんか？実は、水産高校には、そんな「困った」を改善していこうという授業があります。3年生の「課題研究」授業です。本校では、5類型に分かれて水産分野における専門科目を学びます。「課題研究」とは、今まで学んできたことの集大成として、身の回りにある「困った（つまり課題）」を自ら探して、その改善方法を考えていく授業です。

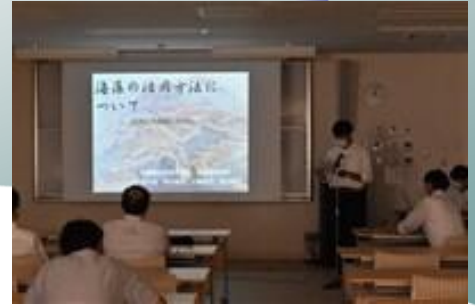
先日、各類型の代表グループが集まり、研究成果の発表会が開催されました。この発表会は、「第30回全国水産・海洋高等学校生徒研究発表大会」の予選会も兼ねて行われただけに、どのグループも真剣そのものでした。

各類型の発表内容は以下のとおりです。

- 航海技術類型：船体模型作成
- 機関工学類型：水中ロボットリモートコントローラー製作
- 生物環境類型：海藻の活用方法について～SDGsを意識しながら～
- フードビジネス類型：かまぼこと“こめぼこ”の消費期限の違いについて
- 調理類型：うまいもん甲子園への取組

< 学校のホームページはこちらです >

<https://miyagisuisan.myswan.ed.jp/>



(12) 気仙沼高校 <海を素材としたグローバルリテラシー育成>

本校は、今年度スーパーグローバルハイスクール（SGH）ネットワーク校として、課題研究活動を中心とした思考力、コミュニケーション力、多様性・協働性・行動力を育成するプログラムを継続実施し、さらなる発展を図っています。また、国際交流事業として3年生創造類型は台湾国立台南高級海事水産職業学校と、2年生創造類型は台湾国立北門高級中学とオンライン交流会を行ったり、探究学習の一環として、県内外の大学の先生方や地域の方々から指導・助言をいただく機会を多く設けるなど、社会に関われた教育課程の開発・実践を行っています。さらに、人文・理数類型の探究活動も積極的に行われています。

これからも、地域連携と国際交流を中心とした活動により、社会貢献意欲の向上を図り「飛翔の翼 世界へ！」のスローガンのもと、グローバル視野を広げ、スケールの大きなリーダーを育成していきます。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://kesennuma-h.myswan.ed.jp/>



1学年フィールドワーク



課題研究発表会

3 学校紹介

(1) 柴田高校 <体育祭・芸術鑑賞教室>

9月の柴高祭に続き、10月7日（木）と8日（金）に、体育祭を開催しました。7日に徒競走、綱引きなどの運動会種目、8日はサッカー、バスケットボールなどの球技種目、2日間にわたりスポーツを楽しみ、その合計得点を各クラスで競い合います。白熱した争いの中で、親睦を深め、仲間との輪をより広げることが出来ました。

また10月28日（木）には、芸術鑑賞会を催しました。柴田高校では、古典芸能・演劇・音楽の3分野を順番に鑑賞しており、今年度は津軽三味線を鑑賞、素晴らしい演奏に、多くの感動をいただきました。

今年度の県新人大会では、陸上競技が200m、円盤投で優勝、硬式野球部はベスト8に入るなど、優秀な成績を収めています。柴田高校ではこのように活躍してくれる、または、してみたいという生徒を大募集しています。

みなさんも柴田高校であなたの夢を実現してみませんか。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://sibata.myswan.ed.jp/>



(2) 黒川高校 <120周年記念式典&黒高祭開催！>

明治34（1901）年に黒川農学校として開校した黒川高校では、創立120周年を記念する式典を10月15日（金）に行いました。式典の後には、今や宮城県を代表する観光スポットにもなっている「了美ヴィンヤード&ワイナリー」を経営するなど、地域の発展に大きく貢献されている先輩でもある（株）みらいファームやまと代表取締役の早坂了悦様（本校農業土木科卒業）を講師に迎えた「記念講演」が行われました。「地域とともに」という演題で御自身の人生を振り返りながら本校生に向けて力強いメッセージをいただき、進路決定・卒業を控えた生徒にとって前向きな気持ちになれる講演となりました。

また、同日及び16日（土）の2日間にわたり令和3年度「黒高祭」が開催されました。今年は「青春謳歌～オレらの花を咲かせよう～」をテーマとし、一般公開をせず校内発表のみとなりましたが、2年ぶりにこの時期に行うことができました。まだまだ多くの制限がある中での開催でしたが、文化部・同好会による動画の活動紹介や作品展示、各クラスのパフォーマンス発表（動画）、有志参加の文化祭実行委員会企画など、感染対策を十分講じたうえで各発表団体が工夫をこらした楽しい2日間となりました。また全校製作として、クラスごとの思いをこめた色とりどりの「アンブレラスカイ」が華やかに中庭を彩りました。

県内でも有数の歴史と伝統を誇り、楽しい行事ももりだくさんの黒川高校で学びたいと思う中学生の皆さんは、ぜひ黒川高校への進学を考えてみてください！



< 学校のホームページはこちらです >

<https://kurokawa.myswan.ed.jp/>

(3) 古川高校 <図書委員会・読書活動の紹介>

古川高校では読書や文化に親しむ機会として、秋に「芸術鑑賞会」や「ビブリオバトル」を毎年行っていますが、今年度は新型コロナ緊急事態宣言の影響で実施することができませんでした。その代替案として挑戦したのが「みんなに薦めたいMy推し本」作成です。1・2年生が一人1冊おすすめ本の紹介をカードに記入して、クラスごと模造紙にまとめ廊下に掲示しました。その後紹介文を見て、「読みたい」と思ったカードに投票用シールを貼ってもらい、最もシールの多かった紹介文を学校図書館広報「図書館ニュース」で発表しました。紹介文は本を読み込んで丁寧に仕上げたものから、イラストを駆使して本への興味を掻き立てるものまで多様にそろいました。どんな本が古高生に人気があったのか、興味がある方は古川高校ホームページから「図書館ニュース」10月号を御覧ください。



<学校図書館展示コーナー>
図書委員が本の紹介などを
作成しました。

以下は、クラスでの連絡や模造紙作りを担当した図書委員の感想等です。

- 友だちの推し本はどれか探したり、普段は自分が読まないような本の紹介文を読んだり、さまざまな楽しみ方がされました。
- (例年の)ビブリオバトルは少人数グループに分かれるのでグループの人のおすすめ本にしか触れられませんが、今回は全員のものが見れるという点でこの企画はとても良かったという声を聞きました。

この他、古川高校図書委員会では夏休みに文化施設見学や、書店での図書購入、学校図書館内の展示コーナー作成などの活動をしています。読書が好きな中学生の皆さん、古川高校図書委員会とともに活動出来る日を楽しみにしています。



「みんなに薦めたいMy推し本」記入カード

< 学校のホームページはこちらです >

<https://furuko.myswan.ed.jp/>

(4) 岩ヶ崎高校

<地域とともに80年 これからも愛される学校づくりを推進します>

【創立80周年】

岩ヶ崎高校は今年で創立80周年。建学の精神「尚志育英（志の高い若者を育てる）」のもと、13,000名を超える卒業生が宮城県内はもとより国内外の様々な分野で活躍しております。地域の進学校として長きに渡り地域進学重点校に指定されるなど、良き伝統を継承し、これからも地域に愛され、必要とされる学校づくりに邁進します。



建学の精神「尚志育英」記念碑



栗原市企画部の方と記念撮影

【総合的な探究の時間】

1, 2年生の「総合的な探究の時間」では、「地域課題解決プロジェクト」に取り組んでいます。栗原市役所企画部定住戦略室から、地域の課題を情報提供していただき、グループに分かれ各グループで問いを立て課題解決に取り組んでいます。

【健康強歩大会】

10月15日（金）に40年を超えて続く伝統行事、岩ヶ崎高校三大行事の一つでもある健康強歩大会を開催しました。当日は栗原市内22kmを参加生徒全員が指定時間内に歩くことができました。保護者や地域の方々からたくさん「頑張って」の声援をいただきました。ゴールではPTAの方々のお楽しみ抽選会も企画されるなど、秋の深まりを感じつつお互いの健闘を讃え合いました。



22kmゴールの一コマ

< 学校のホームページはこちらです >

<https://iwagasakikou.myswan.ed.jp/>

4 お知らせ

(1) 宮城野高校

〈令和3年度宮城野高等学校美術科中学生美術実技講習会〉

例年、多くの中学生の皆さんに参加していただいておりますが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、期日を延期し、中学3年生に限定して開催します。

1回目の実技講習は鉛筆で自画像を描きます。鏡に映した自身の顔をよく観察して、表情や内面の気持ちなどを考えながら表現します。

2回目は静物を描きます。普段何気なく見過ごしがちな物をよく観察し、物の形や色、質感を鉛筆で表現します。いずれも美術・デザインを学ぶための基礎・基本です。多くの皆さんの参加をお待ちしております。

次回：12月18日（土）

※参加には申込が必要です。詳細は本校HPを御覧ください。最終参加締切は12月10日（金）です。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://miyagino.myswan.ed.jp/>

(2) 第二工業高校 〈電気科特別編入制度について〉

本校電気科は電気主任技術者の認定校になっており、電気科卒業後、所要の実務経験により第三種電気主任技術者（いわゆる電験三種）の資格を取得できます。

その中で、本校には「電気科特別編入制度」があり、電気科以外の高校を卒業した方が電気科3年に編入し、電気工事士や電気主任技術者などの資格取得を目指しています。編入学の理由は、家業を継ぐ為や会社の仕事で必要になり、再度知識や技能を習得したいと考えた為など様々です。

一般の生徒たちと一緒に受ける授業や実習もあり、目標に向かって熱心に勉学に励む姿は一般生徒の良き手本となっています。

特別編入試験は毎年3月に実施しますが、資格審査が必要なため2月中旬までにはお問い合わせください。詳細は学校ホームページを御覧ください。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://m2k.myswan.ed.jp/>

特別編入生の実習風景

(3) 美田園高校

〈学校説明会（令和4年1月16日（日）開催予定）のご案内〉

令和4年度一期入学に向けた学校説明会を下記の日程で実施します。通信制の学習の進め方は、全日制・定時制とは全く異なります。入学する前にその通信制のシステムを理解しておくことが学習継続と卒業につながります。進路の選択肢のひとつとして美田園高校を考えていらっしゃる方は、ぜひとも学校説明会に御参加ください。



日時： 令和4年1月16日（日）

対象： 本校への入学を希望している方と保護者の皆様及び中学校・高校の先生方

会場： まなウェルみやぎ 3階 大研修室

諸連絡： ○事前の申し込みが必要です。

詳細は本校 HP を御覧ください。 <https://mitazono.myswan.ed.jp/>

○公共交通機関を御利用願います（近隣には有料駐車場があります）。

〈学校のホームページはこちらです〉

<https://mitazono.myswan.ed.jp/>